



2024年10月11日

各 位

会 社 名 光 フード サービス 株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 谷 光 徳  
(コード番号：138A 東証グロース・名証ネクスト)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 石 田 央  
(TEL 052-581-8090)

**特別損失（減損損失）の計上及び2024年11月期通期業績予想の下方修正並びに  
配当予想の修正（初配及び記念配当）に関するお知らせ**

当社は、2024年11月期第3四半期会計期間（2024年6月1日～2024年8月31日）における特別損失の計上及び最近の業績動向等を踏まえ、2024年2月28日に公表いたしました2024年11月期の業績予想を修正し、併せて、2024年11月30日を基準日とする配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

1棟の建物に出店している3店舗「立呑み焼きとん大黒 名駅西口店」「立喰い寿司魚樁 名駅西口店」「立呑み魚樁 本店」において、これまで契約更新を継続しておりましたが、このたびは家主様より当該建物の建て替え工事が実施される予定となったとのことであり2024年9月末日の定期建物賃貸借契約満了をもって、退店することを意思決定しました。これに伴って、減損損失として13百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2024年11月期業績予想の修正（2023年12月1日～2024年11月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,542	312	292	203	222円23銭
今回修正予想 (B)	2,533	202	179	99	108円86銭
増減額 (B - A)	△9	△110	△113	△103	—
増減率 (%)	△0.4	△35.2	△38.8	△51.0	—
(参考) 前期実績 (2023年11月期)	2,225	262	255	201	299円17銭

## (2) 通期業績予想の修正の理由

2024年11月期第3四半期の売上高につきましては、ドミナントの効いたエリアに出店している既存店の売上が好調なことにより、既存店の売上高が前回予想を上回る結果となりました。また、大黒100店舗まで対応可能なセントラルキッチン の効率化、合理化を進めたことにより、原材料費の高騰を吸収し、店舗が増加したことで原価低減に好影響を与えることとなりました。

一方で、主に以下の①～⑤などの理由により、2024年2月28日に公表いたしました2024年11月期の業績予想を修正いたしました。

### ①出店計画の遅れ及び新規出店店舗の立上がりの遅れ

新規出店時期に遅れが生じ通期の売上が見込みどおりとならなかった一方で、抱える人材が増えたことにより人件費が増加いたしました。また、新規出店店舗について、既存ドミナントエリアへ出店した店舗と比較し、新規エリアへ出店した店舗の立上りが見込みどおりとならず、当初出店計画よりも利益への貢献が限定的となりました。これにより、売上高が66百万円下回り、売上高の減少及び既存店の人件費が46百万円増加したことにより、営業利益が51百万円悪化する見込みです。

### ②隣接する3店舗の退店

1棟の建物に出店している3店舗「立呑み焼きとん大黒 名駅西口店」「立喰い寿司魚樫 名駅西口店」「立呑み魚樫 本店」において、これまで契約更新を継続しておりましたが、このたび家主様より当該建物の建て替え工事が実施される予定となったこととあり2024年9月末日の定期建物賃貸借契約満了をもって、退店することを意思決定しました。これにより当初計画には当該退店は想定されておらず、売上高が38百万円下回ったことにより、営業利益は14百万円悪化する見込みです。

### ③出店計画の変更

今期の新規出店計画を7店舗から10店舗へ変更（フランチャイズ店を除く）することとなりました。当初の新規出店計画は計画どおり遂行している一方で、好立地・好条件の物件が見つかったため、積極的に新規出店を行います。当初の計画を超過する出店により、売上高が5百万円増加を見込んでいる一方で、新規出店に伴う初期費用及び採用教育費等が33百万円増加し、これにより、営業利益は27百万円悪化する見込みです。

### ④焼肉業態のリニューアル

食べ放題形式の焼肉店「焼肉デラックス 江南店」を、収益性の改善を目的としてアラカルト形式の店舗「焼肉まるい精肉店 江南店」へとリニューアルオープンしたことにより、売上高が10百万円増加を見込んでいる一方で、初期費用が16百万円発生いたしました。これにより、営業利益は12百万円悪化する見込みです。

### ⑤減損損失の計上

上記1.に記載の減損損失の計上により、13百万円を特別損失に計上いたしました。これによる当期純利益は同額の13百万円悪化する見込みです。

以上のことから通期業績予想を上記のとおり修正いたしました。

### 3. 配当予想の修正について

#### (1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		0円00銭	0円00銭
今回修正予想		40円00銭 (普通配当 20円00銭) (記念配当 20円00銭)	40円00銭 (普通配当 20円00銭) (記念配当 20円00銭)
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2023年11月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

#### (2) 配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元は重要な経営課題として認識しており、今後の経営成績及び財政状態を鑑みつつ、事業・投資計画、事業環境等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりつつ配当について検討していくことを方針としております。

現下の業績に鑑み、1株当たり20円00銭の普通配当を実施いたします。

また、当社は2024年2月28日に東京証券取引所グロース市場及び名古屋証券取引所ネクスト市場に上場いたしました。

これもひとえに株主の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様からの温かいご支援、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すため、東京証券取引所グロース市場及び名古屋証券取引所ネクスト市場への上場を記念して、1株当たり20円00銭の記念配当を実施することといたしました。

これにより、2024年11月期の期末配当は、1株当たり20円00銭の普通配当と、20円00銭の東京証券取引所グロース市場及び名古屋証券取引所ネクスト市場上場記念配当の合計40円00銭となる予定です。

なお、剰余金の配当を行う場合は、年1回期末配当を行うことを基本的な方針としております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上